

平成 22 年度当初予算 施策別概要

4 1 3 水環境の保全

(主担当部：環境森林部)

- 41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進
(環境森林部)
- 41302 生活排水対策の推進
(環境森林部)
- 41303 伊勢湾の再生
(環境森林部)
- 41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進
(農水商工部)

< 施策の目的 >

- (対象) 河川・海域が
- (意図) 水遊びできる水質に維持または改善されている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
水浴びや水遊びができる水質 (BOD 2 mg/L 以下) の河川の割合	目標値	-	87.0%	90.0%	91.0%	93.0%
	実績値	80.6% <small>(H14~H18年度)</small>	87.1%	90.3%		

県内の河川水域 (2008 年度末現在 62 水域) のうち、河川の水質が水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または改善されている (生物化学的酸素要求量 (BOD) 2 mg/L 以下) 水域の割合
(三重県公共用水域水質測定結果)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
生活排水処理施設の整備率	目標値	-	73.0%	74.0%	75.2%	76.5%
	実績値	71.5%	73.3%	74.9%		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 水質汚濁防止法に基づく工場・事業場の排水規制については、重点的な立入検査を実施するなど、計画的で実効性のある指導を実施していますが、さらなるコンプライアンスの徹底について、事業者の意識向上をはかることが必要となっています。
- ・ 第 6 次伊勢湾水質総量規制に基づき、工場・事業場等からの排水の COD、窒素及びりん削減対策を実施しています。
- ・ 県内の公共用水域の水質は、河川では環境基準を概ね達成する状況にあるものの、海域では COD の達成率が低い状況で推移しており、汚濁負荷の主な要因である生活排水に係る汚濁負荷の一層の削減が必要であることから、県としては、効率的かつ効果的な処理施設の整備を進めています。
- ・ 伊勢湾の再生に向けては、「伊勢湾再生行動計画」をもとに、NPO、有識者、市町等からなる「伊勢湾再生推進検討会」により、多様な主体と連携した取組を進めています。また、伊勢湾沿岸域の底質調査では、三重大学と連携した調査を行っており、今後、伊勢湾における汚濁負荷の内部生産や貧酸素水塊の発生メカニズムの解明等につなげていくこととしています。
- ・ 漂流・漂着ゴミ対策に関しては、伊勢湾流域圏の広域的な取組として、愛知県、岐阜県等と連携して「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を実施しており、平成 21 年度は三重県において 25

団体、約17,500人の参加を得ました。

- ・ 土壌汚染については、過去の土地及び地下水の汚染情報の収集・整理を進めており、今後、汚染が確認された際に原因の推定に資するため、データベース化することが課題となっています。

<平成22年度の取組方向>

河川・海域等の水質常時監視を継続して実施するとともに、工場・事業場への重点的・計画的な立入検査を行い、水質汚濁防止法等の関係法令に基づく指導を徹底することにより、公共用水域の水質保全をはかるほか、企業コンプライアンスの確立を進めます。

生活排水対策については、「生活排水処理アクションプログラム」に基づき、処理施設の整備を進めていますが、各市町との協議により、さらに効率的かつ効果的な施設整備への見直しを進め進捗をはかります。

伊勢湾の水質改善については、第6次伊勢湾水質総量規制に基づき、排水のCOD、窒素、りん等の総量削減を進めるとともに、伊勢湾沿岸域における底質調査の結果が、汚濁負荷の内部生産メカニズムの解明や発生源対策等につながるよう、三重大学との情報共有を行います。

伊勢湾の再生に向けて、「伊勢湾再生行動計画」を着実に推進するため、多様な主体と連携した取組を進めるとともに、「伊勢湾再生推進会議」においてフォローアップしていきます。

漂流・漂着ゴミ対策については、国の「漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査(第二期)」に参画するとともに、伊勢湾流域圏の広域的な取組として、多様な主体による「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」に引き続き取り組みます。また、グリーンニューディール基金を活用して、伊勢湾全域の海岸及び流入河川における詳細な実態調査を行うとともに、市民団体や関係機関による協議会を設立して、海岸漂着物処理推進法に基づく地域計画、海岸漂着ゴミの回収・処理及び発生源対策等の検討を行うなど、伊勢湾の再生に向けて「伊勢湾再生行動計画」の推進に向けた取組を進めます。

土壌汚染問題に対処するため、過去から把握している土壌・地下水に関する情報を利用しやすい形にまとめ、データベース化を行うとともに、汚染原因の推定方法についての研究に取り組みます。

閉鎖性海域の生態系の保全・回復による自然浄化機能の再生に向け、伊勢湾の浅海域における干潟・藻場の造成等に取り組むほか、漁業者、漁業団体及び三重大学等と連携・協力し、沿岸生態系の保護造成、二枚貝やノリによる水質浄化機能を高めるための研究を行います。

<主な事業>

河川等公共用水域水質監視事業【基本事業名：41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進】
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費)

予算額：(21) 40,343千円 (22) 70,007千円

事業概要：公共用水域および地下水の水質常時監視を行うとともに、伊勢湾の総量規制対策を実施するほか、水生生物の環境基準類型指定のため、河川の現況調査を行います。

(常時監視 49河川、4海域予定)

工場・事業場排水規制事業【基本事業名：41301 水環境における汚濁負荷の削減の推進】
(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費)

予算額：(21) 1,461千円 (22) 1,518千円

事業概要：公共用水域の水質保全をはかるため、工場・事業場への重点的・計画的な立入検査を行います。

(一部舞) 浄化槽設置促進事業【基本事業名：41302 生活排水対策の推進、41303 伊勢湾の再生】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費)

予算額：(21) 470,332千円 (22) 467,033千円

〔	内訳	通常分	(21)	77,133千円	(22)	83,943千円
		舞台づくり	(21)	393,199千円	(22)	383,090千円

事業概要：浄化槽と集合処理施設との連携の見直しなど、効率的・効果的な整備手法の調査検討を行うとともに、市町が浄化槽の設置者に支援する事業及び市町が浄化槽を整備する事業に対して支援を行い、浄化槽の普及を促進します。

(整備基数 通常分 802基、舞台づくり2,863基予定)

(舞) 伊勢湾行動計画推進事業【基本事業名：41303 伊勢湾の再生】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3環境指導費)

予算額：(21) 2,783千円 (22) 108,167千円

事業概要：国と三県一市等で組織する「伊勢湾再生推進会議」において策定した「伊勢湾再生行動計画」に基づき、大学等の研究機関など多様な主体との連携による調査・研究や普及啓発等に取り組むとともに、グリーンニューディール基金を活用し、海岸漂着物対策を推進します。

(舞) 閉鎖性海域の多様な生態系の回復に向けた調査・技術開発事業

【基本事業名：41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進】

(第6款 農林水産事業費 第5項 水産業費 10水産業試験研究費)

予算額：(21) 15,203千円 (22) 13,637千円

事業概要：閉鎖性海域における生態系の回復を促進するため、干潟・藻場の回復再生技術や赤潮の発生防止技術の開発および底泥の堆積過程の解明等について、産学官の連携により取り組みます。

(調査海域：英虞湾 調査内容：沿岸遊休地の干潟への再生技術の開発、殺藻ウイルスによる赤潮防除技術実用化の可能性検討、陸からの流入物質と植物プランクトンの増減、底泥の体積過程との関連解析など)